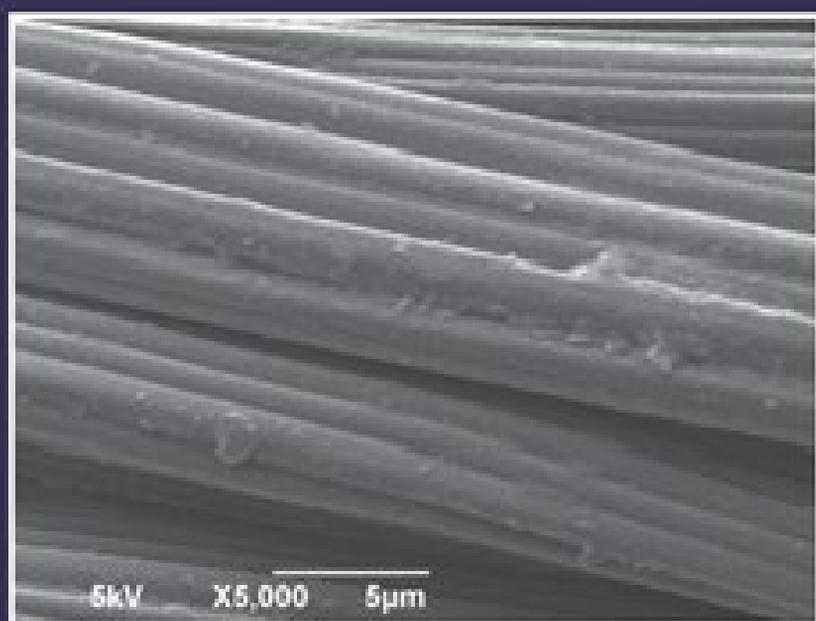


# Nanofiber

第16巻  
1・2・3・4合冊  
号



特集：ナノファイバーテクノロジーと3Dプリンティングの現状  
巻頭言  
研究最前線

**Volume 16 (1,2,3,4)**  
**2025. 7. 1**

ISSN 2185-3215

特定非営利活動法人 ナノファイバー学会

---

---

# ナノファイバー学会誌 Vol.16, No.1・2・3・4 合冊号

## 特集「ナノファイバーテクノロジーと3Dプリンティングの現状」

---

### ■巻頭言

ナノファイバーは人類を救うか？	安永 裕幸	<i>Yuko Yasunaga</i>	1
-----------------	-------	----------------------	---

### ■研究最前線

#### (16巻1号) 高分子ナノファイバーの現状と未来

溶融系高分子ナノファイバー

	八木 健吉	<i>Kenkichi Yagi</i>	3
レーザー加熱電界紡糸によるポリ乳酸系ナノファイバーの構造形成	高崎 緑	<i>Midori Takasaki</i>	8
電界紡糸技術の軌跡：ナノファイバーが拓く未来	内藤 親視	<i>Chikashi Naito</i>	14
溶液ブロー紡糸を用いた高分子ナノファイバーの作製と応用	松本 英俊	<i>Hidetoshi Matsumoto</i>	20

---

#### (16巻2号) 高分子ナノファイバーとCNTの応用

ナノファイバー不織布の吸音材への応用

	赤坂 修一	<i>Shuichi Akasaka</i>	26
ナノファイバーの複合材料への応用	アジーム ウラ	<i>Azeem Ullah</i>	30
	金 翼水	<i>Ick Soo Kim</i>	
CNTのクワンタムリープ的機能性	鶴岡 秀志	<i>Shuji Tsuruoka</i>	36
CNTの医療への応用—非臨床試験における生体電位測定—	高橋 祐次	<i>Yuhji Taquahashi</i>	40
カーボンナノチューブ=応用と更なる可能性=	柳澤 隆	<i>Takashi Yanagisawa</i>	46

---

#### (16巻3号) セルロースナノファイバーの応用

セルロースナノファイバーの車への応用

—ナノセルロースヴェイクル (NCV) プロジェクトについて—

	白杵 有光	<i>Arimitsu Usuki</i>	52
竹セルロースナノファイバー CELEENA®	衣本 太郎	<i>Taro Kinumoto</i>	58
	守山 雅也	<i>Masaya Moriyama</i>	
ナノファイバー・ナノ粒子の安全性評価	山下 義裕	<i>Yoshihiro Yamashita</i>	64
竹セルロース由来カーボンナノファイバー	谷岡 明彦	<i>Akihiko Tanioka</i>	70
	中津山 國雄	<i>Kunio Nakatsuyama</i>	
	瀬戸 祐志	<i>Masashi Seto</i>	
	山野井 麗子	<i>Reiko Yamanoi</i>	
	千野 晴冬	<i>Haruto Chino</i>	
	中津山 佳志子	<i>Yoshiko Nakatsuyama</i>	

---

(16 卷 4 号) 3D プリンティングの新展開と応用

3D プリンティングの新展開

	萩原 恒夫	<i>Tsuneo Hagiwara</i>	74
CNF の材料押出方式 3D プリンティングへの応用	谷本 一洋	<i>Kazuhiro Tanimoto</i>	80
	前川 知文	<i>Tomofumi Maekawa</i>	
セルロースナノファイバーの粉末床溶融結合方式 3D プリンターへの応用	井上 亮太	<i>Ryota Inoue</i>	86
	渡部 啓吾	<i>Keigo Watanabe</i>	
バイオファブリケーション応用に向けた 3D プリンティング技術	森田 智博	<i>Tomohiro Morita</i>	90
	竹内 昌治	<i>Shoji Takeuchi</i>	

■学会報告

ナノファイバー学会第 14 回年次大会報告			96
-----------------------	--	--	----

■特定非営利活動法人ナノファイバー学会定款

97

■役員会報告

103

ナノファイバー学会入会申込書

個人会員・学生会員			108
-----------	--	--	-----

維持会員・賛助会員			109
-----------	--	--	-----

■編集後記

110

---

<表紙の画像>

谷岡明彦氏提供

「竹レーヨンを約 1200°C で焼成して作成したカーボンナノファイバーの SEM 画像（倍率 5000 倍）：本誌 [p.72 Fig.4] を参照」

